

3次元画像コンファレンス講演申し込みの手引き

■ 提出書類一式

以下の2つを提出して下さい。

1. 講演申込票
2. 内容梗概（査読対象）

■ 書式に関する規定

以下の規定を厳守して下さい。

1. 用紙サイズ：A4 サイズ
2. 文字サイズ：10pt もしくは 10.5pt（講演題目も含めて）
3. ページ数：講演申込票、内容梗概共に各々1ページ（分量厳守）
4. 段組等：添付の記入例を参照のこと

■ 申込方法

WEB 投稿となります。以下 URL からリンクされた申込みサイト(1月下旬に公開予定)へ進み、ご登録、ご投稿をお願いいたします。

<http://www.3d-conf.org/>

※書式および分量が不適合な場合、不採録となりますので、ご注意ください。

■ 講演形態について

オンライン開催への変更に伴い、本コンファレンスでは一般講演を通常の「口頭発表」形式に限定しておりました。しかしながら、ご研究成果のデモンストレーションが行いやすい「ポスター発表」の意義を重視し、これを受け継ぐ意図から、従来の「ポスター発表」に相当しデモンストレーションや聴講者との直接的なディスカッションが行いやすい対話型の発表形式を新たに設けることとしました。本コンファレンスは、これらをそのまま「口頭発表」「ポスター発表」と呼びます。従来と同様に、査読および論文集掲載において、両者はまったく同等・同格として扱われます。本お申込み手引きでの注意事項をよくご理解の上、講演申込票にて講演形態をご指定ください。本コンファレンスはシングルトラックの構成であり、対話型の「ポスター発表」のみのセッション（時間帯）を設けます。オンライン開催での対話型発表の実施形態、要件につきましては、採録時にご連絡いたします。

発表形態は、ご希望を伺いますが、最終的にはプログラム編成の段階にて、実行委員会から指定させていただきます。発表形態を変更させていただく場合がありますことを予めご了承ください。オンライン発表に関する詳細は、採録論文の提出時に再度ご連絡します。

■ 書式の提出における注意（重要）

提出された内容梗概に基づいて、シングルブラインド形式による査読を行います。内容梗概には著者名を明記してください。申込時の講演題目、著者名で査読、および、プログラム編成をいたします。採録論文の提出時に変更のないよう、ご注意ください。論文の本質に関わる点でのタイトル等の変更が生じた場合には、採録取り消しとなる場合があることを予めご了解ください。

■ 申し込み時における確認承諾事項（重要）

採録された論文の著作権は、3次元画像コンファレンス実行委員会に帰属します。

研究の実施、発表において研究倫理の遵守が担保されていることを、採録の必須要件といたします。評価等を目的としてヒト（実験協力者、被験者）を用いる事例において、ヘルシンキ宣言などの各種学会や団体が定める倫理規定を遵守していること、各実施機関における倫理審査承認を得ていること、また、研究開発成果の例示等を目的として開発されたシステムのユーザや設置場所等を写真撮影するような場合において、写真撮影における被撮影者からの許諾を得ていること、被撮影者のプライバシー保護に十分な配慮がなされていること、設置場所における写真撮影の許諾を設置場所の管理者より得ていること、加えて、社会実験や社会実装等の事例に見受けられる研究自体には関わらない第三者が研究の実証、実践に関与する場合において、その第三者の権利を保護する手段、手続きが十分であること、以上を申込みと採録の必須条件といたします。

査読による採否判定の他、申込み書式の不備による不採録、論文の本質に関わる点での申込時からの変更による採録取り消し、発表形態の指定、および、その他の合理的な事由に基づく著者への指示は、コンファレンス実行委員会の裁量といたします。

以上の確認承諾事項について十分にご理解の上、お申込みください。**お申込みは上記全てについて承諾をなされた上で行われたもの**として取り扱います。

講演申込票（1ページ目）

- 講演題目：
- 著者名（著者全員について学部学科名・部課名まで記載してください）
著者1： 所属：
著者2： 所属：
（…以下全員）
- 代表者の連絡先（査読結果の通知先として適切な方を1名記載してください）
氏名：
住所：
電話： FAX：
e-mail：
- 主分野・副分野（別表参照の上、主分野を1つ（必須）と、副分野を2つまで指定してください）
主分野（1ヶのみ、必須）：
副分野1： 副分野2：
- 発表形態（いずれか1つを選択してください）
 - オンライン上の口頭発表
→ 「画面共有機能によりスライドを表示」 + 「発表者はカメラ・マイクを有効にして参加」を基本とします。質疑応答を含め15分から20分程度の講演時間を予定しています。
シングルセッションのため、全聴講者に向けた発表となります。
 - オンライン上のポスター発表（複数が並行して実施される対話型の講演）
→ zoom の breakout room 機能を用い、各発表者が並行して1時間から2時間程度の講演を行います。「カメラ・マイクを有効にして参加」の上「ポスターに準ずるスライドを表示」しながらの発表を原則としますが、時間の制約が小さいので、カメラ等を介した実機の紹介なども可能です。質疑応答を含め、聴講者とともにインタラクティブに発表が進められます。
- 発表言語（いずれか1つを選択してください）
日本語 / 英語

*注：お寄せいただいた住所、電話番号等の個人情報は当コンファレンス実行委員会において厳正に管理いたしておりますが、メールの誤送信等の事態も想定されますので、ご自宅の住所やご自身の携帯電話番号を記載されないよう、できる限りご所属での連絡先を記載されるようご注意ください。

別表：講演論文の分野

講演申込票（1ページ目）の第4項目は、下記から選んで記載して下さい。主分野を必ず1つ選択し、副分野を1～2つまで選んでください。適切な分野が見つからない場合は、「その他」と記載してください。

- 3次元画像の入出力・表示技術
3Dディスプレイ、3Dカメラ、センサ、ライトフィールド、ホログラフィー、
計算機プログラム、3Dプリンティング
- 3次元データの情報処理技術
画像認識・理解、画像生成、3次元画像に関わる諸アルゴリズム、符号化、可視化技術、シ
ミュレーション、VR・AR・MRに関する情報処理、AIと3D、距離画像処理、その他
- コンテンツ制作技術・利用技術
3D映像制作、VR・AR・MRコンテンツ、3Dインタラクション、その他
- ヒューマンファクタ・生理心理評価、感性工学、社会科学
視覚生理、視覚心理、視知覚、認知、3次元画像の評価、臨場感、質感知覚、その他
- 医用画像技術
診断に関わる医療応用、治療に関わる医療応用、医学教育における3次元画像利用、その他
- 応用、アート・可視化
教育、通信・放送、建築・環境・交通・観光・その他産業応用、
アートと3D、学術分野への応用、インフラ系・広告などの社会応用・実装、その他
- その他

注意：以上は目安として、大まかな領域ごとに箇条書きにしたものです。主分野、副分野の記述の際には、カンマで区切られた語彙、語句から選択してください。箇条書きの1行を丸ごと記述することはしないでください。

内容梗概（2 ページ目：査読対象）

1. 講演題目：
2. 著者名：
3. キーワード（5 つまで）：
4. 本文（1 段組・2 段組, いずれも可）：

講演論文の採否を審査するものであることに留意し、学術的な新規性、具体的な方法論、成果の優位性などを明確に記述してください。図表類を含めて1ページ以内にまとめてください。記述すべき項目は以下を参考にしてください。

(1) 研究の背景および目的：研究の背景や目的を簡潔に記載してください。文献引用で他者との違いを明確化してください。

(2) 研究の手法：実装や実験の原理、方法、手順等を具体的に記載してください。

(3) 成果：成果、結果の新規性・有効性・優位性を明確に記述してください。図表や定量的評価の記載は、読者の理解にとって有効です。

(4) 結論・まとめ：成果の得失・特徴および、既存成果との対比を論じてください。今後の展望、成果の波及効果等も付記することをお勧めします。

(5) 参考文献：関連する参考文献を適宜、的確に引用してください。

内容に関わる重大な変更について：

採録論文の提出時に講演題目、著者名を含む梗概からの大幅な変更がないように、十分に注意してください。論文の本質に関わる変更が生じた場合には、採録を取り消します。

論文中におけるユーザ等の写真について：

必ず被撮影者からの撮影の許諾を得てください。撮影許諾がなされていない写真を用いた場合、発表後であっても採録を取り消します。また、被撮影者をぼかす等の画像処理を施すことは推奨しません。ぼかすことは、許諾された被撮影者に対して却って失礼な印象を与えることがあります。研究実施機関以外の場所において撮影を行う場合、その場所の管理者から撮影と発表の許諾を得てください。

その他の権利保護について：

たとえば、研究自体へ参加していない第三者が、開発したシステムの実用的な運用などに関与する場合、その第三者の権利を十分に保護するよう取りはからってください。